

表1 事故件数の年度別推移

平成22年度  
(件)

	平成												22年	
	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年		20年		21年			
01.家庭用電気製品	684 ( 44.6%)	825 ( 48.2%)	628 ( 39.4%)	939 ( 44.4%)	738 ( 36.1%)	1171 ( 39.0%)	2378 ( 40.0%)	< 533> ( 48.6%)	2263 ( 49.9%)	< 659> ( 51.3%)	2039 ( 53.3%)	< 520> ( 47.8%)	2386 ( 55.8%)	< 555> ( 49.9%)
02.台所・食卓用品	17 ( 1.1%)	16 ( 0.9%)	24 ( 1.5%)	23 ( 1.1%)	22 ( 1.1%)	70 ( 2.3%)	116 ( 2.0%)	< 10> ( 0.9%)	137 ( 3.0%)	< 12> ( 0.9%)	159 ( 4.2%)	< 7> ( 0.6%)	78 ( 1.8%)	< 8> ( 0.7%)
03.燃焼器具	427 ( 28.0%)	505 ( 29.5%)	540 ( 33.9%)	565 ( 26.7%)	852 ( 41.7%)	1113 ( 37.0%)	1389 ( 23.4%)	< 336> ( 30.7%)	936 ( 20.6%)	< 403> ( 31.3%)	700 ( 18.3%)	< 358> ( 33.0%)	701 ( 16.4%)	< 334> ( 30.1%)
04.家具・住宅用品	59 ( 3.9%)	54 ( 3.2%)	65 ( 4.1%)	51 ( 2.4%)	73 ( 3.6%)	154 ( 5.1%)	279 ( 4.7%)	< 63> ( 5.8%)	327 ( 7.2%)	< 81> ( 6.3%)	218 ( 5.7%)	< 69> ( 6.4%)	402 ( 9.4%)	< 91> ( 8.2%)
05.乗物・乗物用品	172 ( 11.3%)	184 ( 10.7%)	154 ( 9.7%)	323 ( 15.3%)	183 ( 9.0%)	187 ( 6.2%)	153 ( 2.6%)	< 60> ( 5.5%)	167 ( 3.7%)	< 53> ( 4.1%)	164 ( 4.3%)	< 73> ( 6.7%)	245 ( 5.7%)	< 70> ( 6.3%)
06.身のまわり品	94 ( 6.2%)	78 ( 4.6%)	73 ( 4.6%)	98 ( 4.6%)	86 ( 4.2%)	218 ( 7.2%)	1251 ( 21.1%)	< 67> ( 6.1%)	420 ( 9.2%)	< 40> ( 3.1%)	229 ( 6.0%)	< 31> ( 2.9%)	197 ( 4.6%)	< 29> ( 2.6%)
07.保健衛生用品	33 ( 2.2%)	11 ( 0.6%)	19 ( 1.2%)	51 ( 2.4%)	17 ( 0.8%)	25 ( 0.8%)	119 ( 2.0%)	< 9> ( 0.8%)	29 ( 0.6%)	< 5> ( 0.4%)	120 ( 3.1%)	< 3> ( 0.3%)	61 ( 1.4%)	< 4> ( 0.4%)
08.レジャー用品	27 ( 1.8%)	23 ( 1.3%)	31 ( 1.9%)	42 ( 2.0%)	59 ( 2.9%)	29 ( 1.0%)	108 ( 1.8%)	< 12> ( 1.1%)	107 ( 2.4%)	< 17> ( 1.3%)	82 ( 2.1%)	< 16> ( 1.5%)	96 ( 2.2%)	< 14> ( 1.3%)
09.乳幼児用品	8 ( 0.5%)	8 ( 0.5%)	49 ( 3.1%)	19 ( 0.9%)	6 ( 0.3%)	21 ( 0.7%)	130 ( 2.2%)	< 4> ( 0.4%)	129 ( 2.8%)	< 12> ( 0.9%)	81 ( 2.1%)	< 6> ( 0.6%)	88 ( 2.1%)	< 5> ( 0.5%)
10.繊維製品	6 ( 0.4%)	7 ( 0.4%)	9 ( 0.6%)	4 ( 0.2%)	7 ( 0.3%)	20 ( 0.7%)	13 ( 0.2%)	< 1> ( 0.1%)	28 ( 0.6%)	< 5> ( 0.4%)	34 ( 0.9%)	< 2> ( 0.2%)	26 ( 0.6%)	< 5> ( 0.5%)
11.その他	0 ( 0.0%)	1 ( 0.1%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 0.0%)	< 0> ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	< 0> ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	< 0> ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	< 0> ( 0.0%)
総計	1527 ( 100.0%)	1712 ( 100.0%)	1592 ( 100.0%)	2115 ( 100.0%)	2043 ( 100.0%)	3008 ( 100.0%)	5938 ( 100.0%)	<1,095> ( 100.0%)	4543 ( 100.0%)	<1,287> ( 100.0%)	3826 ( 100.0%)	<1,085> ( 100.0%)	4280 ( 100.0%)	<1,110> ( 100.5%)

(注) ( )内の数字は、各年度の通知件数に占める商品区分毎の割合を百分率で表したものである。

図1 事故件数の年度別推移

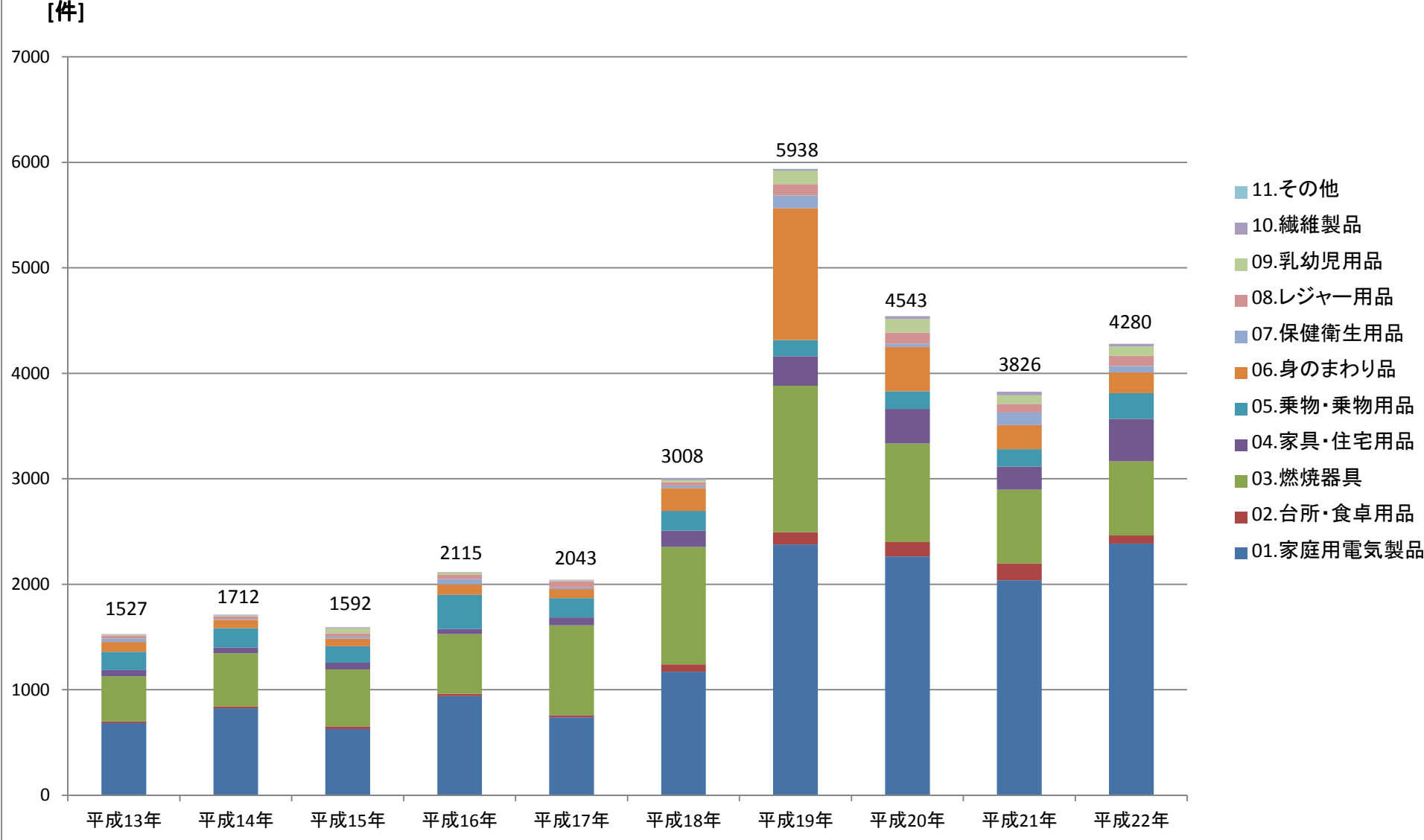


表2 製品区分別被害状況

平成22年度  
[件]

製品区分	被害状況 合計	人的被害の発生した事故			人的被害の発生しなかった事故		
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損	被害なし
01.家庭用電気製品	2,386 2039 2263	14 13 24	19 33 59	158 225 207	555 561 721	1623 1161 1194	17 46 58
02.台所・食卓用品	78 159 137	0 0 0	9 6 13	38 73 50	4 5 9	26 71 60	1 4 5
03.燃焼器具	701 700 936	19 26 41	17 16 17	88 100 155	276 275 360	283 236 319	18 47 44
04.家具・住宅用品	402 218 327	13 7 24	77 56 76	114 88 143	34 18 22	162 48 46	2 1 16
05.乗物・乗物用品	245 164 167	10 11 5	55 59 44	115 56 63	2 3 4	60 34 50	3 1 1
06.身のまわり品	197 229 420	0 0 1	26 27 41	80 99 173	18 38 51	65 28 145	8 37 9
07.保健衛生用品	61 120 29	0 0 0	1 2 5	52 31 19	5 5 4	2 81 1	1 1 0
08.レジャー用品	96 82 107	0 0 1	13 16 19	57 39 32	3 2 3	21 24 47	2 1 5
09.乳幼児用品	88 81 129	0 0 1	4 6 11	44 64 80	22 0 2	18 9 29	0 2 6
10.繊維製品	26 34 28	0 0 1	0 2 4	12 13 17	1 0 0	4 0 1	9 19 5
11.その他	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0
総計	4280 3826 4543	56 57 98	221 223 289	758 788 939	920 907 1176	2264 1692 1892	61 159 149

- (注)1. 被害状況については、製品の問題の有無を問わずにみた件数である。  
 2. 重傷とは、全治1か月以上のけがをいう。  
 3. 拡大被害は、製品以外に他の物的被害に及んだものをいう。  
 4. 各欄内の数値は(平成22年度、平成21年度、平成20年度)に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分別の被害状況を集計したものである。

表3 製品区分別事故原因

平成22年度  
[件]

事故原因 製品区分	A:専ら設計上、製造上又は表示等に問題があったと考えられるもの	B:製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの	C:製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したものと考えられるもの	G3:製品起因であるが、その原因が不明のもの	D:業者による工事、修理又は輸送中の取り扱い等に問題があったと考えられるもの	E:専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの	F:その他製品に起因しないと考えられるもの	G1、G2:原因不明のもの(平成19年度はG3相当含む)	重大製品事故	[小計]調査が終了したもの	H:調査中のもの	合計
01.家庭用電気製品	922 613 862	8 19 57	53 52 64	63 194 116	6 21 82	50 164 298	14 55 100	70 424 252	61 106 349	1,247 1,648 2,180	1,139 391 83	2,386 2,039 2,263
02.台所・食卓用品	2 15 27	0 5 8	0 4	0 2 24	0 0 0	3 24 23	1 4 5	6 54 41	0 2 7	12 110 135	66 49 2	78 159 137
03.燃焼器具	4 27 116	3 2 4	7 18 11	6 5 15	9 26 50	92 245 429	15 67 55	30 70 119	22 34 110	188 494 909	513 206 27	701 700 936
04.家具・住宅用品	35 46 42	3 9 12	1 0 4	61 6 21	4 7 8	23 55 82	6 33 42	13 25 91	2 4 18	148 185 320	254 33 7	402 218 327
05.乗物・乗物品	19 30 49	1 1 1	0 2 1	5 5 2	4 8 6	4 24 40	4 15 15	20 22 33	3 8 11	60 115 158	185 49 9	245 164 167
06.身のまわり品	42 113 127	2 4 125	0 1 2	2 15 12	0 1 0	7 26 44	5 13 24	15 36 70	2 1 12	75 210 418	122 19 4	197 229 420
07.保健衛生用品	1 106 4	1 1 1	0 0 1	0 0 0	0 0 0	0 5 12	5 2 5	3 3 3	1 2 1	11 119 27	50 1 2	61 120 29
08.レジャー用品	8 28 49	7 5 2	0 6 3	0 1 2	0 1 0	9 13 13	2 7 11	11 8 17	1 3 6	38 72 103	58 10 4	96 82 107
09.乳幼児用品	58 4 75	3 38 12	0 0 1	0 1 0	0 0 0	3 8 12	0 4 6	0 21 17	0 4 4	64 80 127	24 1 2	88 81 129
10.繊維製品	8 6 10	0 0 0	0 0	0 1 0	0 0 0	0 0 0	2 9 14	6 18 4	0 0 0	16 34 28	10 0 0	26 34 28
11.その他	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0
合計	1,099 988 1,361	28 84 222	61 83 87	137 230 192	23 64 146	191 564 953	54 209 277	174 681 647	92 164 518	1,859 3,067 4,403	2,421 759 140	4,280 3,826 4,543

(注)1. 各欄内の数値は(平成22年度、平成21年度、平成20年度)に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分別の事故原因を集計したものである。

2. 重大製品事故とは、経済産業省及び消費者庁に報告された重大製品事故情報のうち、経済産業省及び消費者庁が製品に起因する事故及び原因不明であると判断したものである。

表4 事故原因別被害状況

平成22年度  
[件]

事故原因	被害状況 合計	人的被害の発生した事故			人的被害の発生しなかった事故		
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損	被害なし
A:専ら設計上、製造上又は表示等に問題があったと考えられるもの	1,099 988 1,361	0 0 0	0 5 6	91 212 266	56 100 120	945 616 938	7 55 31
B:製品自体に問題があり、使用方も事故発生に影響したと考えられるもの	28 84 222	0 0 1	0 3 0	16 56 50	3 2 27	9 23 133	0 0 11
C:製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したものと考えられるもの	61 83 87	0 0 0	0 0 0	0 7 7	5 19 23	54 48 51	2 9 6
G3:製品起因であるが、その原因が不明のもの	137 230 192	0 0 0	0 0 1	3 36 21	17 38 43	117 154 121	0 2 6
D:業者による工事、修理又は輸送中の取り扱い等に問題があったと考えられるもの	23 64 146	0 1 3	0 3 5	5 18 24	9 16 72	9 26 38	0 0 4
E:専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの	191 564 953	1 13 48	4 40 105	56 173 228	53 181 352	67 136 188	10 21 32
F:その他製品に起因しないと考えられるもの	54 209 277	0 11 11	3 31 69	26 41 84	11 54 72	12 54 35	2 18 6
G1、G2:原因不明のもの	174 681 647	2 5 18	2 1 15	72 154 222	30 94 140	64 378 203	4 49 49
重大事故	92 164 518	0 1 8	6 23 60	5 9 22	36 67 269	44 64 157	1 0 2
[小計]調査が終了したもの	1,859 3,067 4,403	3 31 89	15 106 261	274 706 924	220 571 1,118	1,321 1,499 1,864	26 154 147
H:調査中のもの	2,421 759 140	53 26 9	206 117 28	484 82 15	700 336 58	943 193 28	35 5 2
合計	4,280 3,826 4,543	56 57 98	221 223 289	758 788 939	920 907 1,176	2,264 1,692 1,892	61 159 149

(注)1. 各欄内の数値は(平成22年度、平成21年度、平成20年度)に収集した事故情報の調査結果に基づき事故原因別の被害状況を集計したものである。

3. 重大製品事故とは、経済産業省及び消費者庁に報告された重大製品事故情報のうち、経済産業省及び消費者庁が製品に起因する事故及び原因不明であると判断したものである。

表5 製品区分別再発防止措置等の実施状況

(製品に起因する事故) 平成22年度  
[件]

製品区分	発防止措置の実施状況			製品の交換、部品の交換、安全点検等を行ったもの	製品の製造、販売又は輸入を中止したもの	製品の改良、製造工程の改善、品質管理の強化等を行ったもの	表示の改善、取扱説明書の見直し等を行ったもの	政府、団体、事業者等の広報等により消費者に注意を喚起したもの	被害者への措置、損害賠償、製品交換等、個別的な措置												
	措置実施件数																				
01.家庭用電気製品	969	694	1,013	597	459	635	13	52	29	692	310	444	10	55	53	914	509	683	700	470	708
02.台所・食卓用品	1	23	61	0	2	11	0	3	10	1	18	44	0	4	6	0	5	43	0	10	47
03.燃焼器具	32	68	167	29	57	154	0	2	3	7	21	107	0	1	2	30	62	87	20	47	74
04.家具・住宅用品	98	50	77	90	18	47	57	10	17	36	28	44	4	4	6	68	13	24	80	38	63
05.乗物・乗物用品	21	35	50	16	21	43	0	8	10	12	19	34	0	0	5	11	10	33	14	18	35
06.身のまわり品	42	115	259	36	102	105	7	20	10	12	10	55	1	3	27	36	64	228	37	97	110
07.保健衛生用品	3	109	7	2	102	1	1	3	1	2	107	3	1	99	2	1	101	2	2	103	3
08.レジャー用品	12	30	55	4	18	43	1	2	8	5	18	32	7	5	3	10	18	31	8	22	36
09.乳幼児用品	61	45	90	14	6	61	1	0	13	56	8	84	0	1	19	45	38	72	27	43	65
10.繊維製品	8	5	10	6	5	8	5	0	5	7	5	9	1	0	0	5	1	6	6	5	6
合計	1,247	1,174	1,789	794	790	1,108	85	100	106	830	544	856	24	172	123	1,120	821	1,209	894	853	1,147

(注)1. 収集された事故に関して複数の措置が取られたものは、措置ごとに集計した。

2. 各欄内の数値は(平成22年度、平成21年度、平成20年度)に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分別の再発防止措置等の実施状況を集計したものである。

3. 個別措置のみのものを除く。